

①能登半島地震 被災地への支援状況（災害対策用車両、通信機器等）

大臣・政務官
現地視察状況



石川県知事から被災状況説明を受ける冬柴国土交通大臣<3月30日(金)>



石川県知事と会談を行う吉田国土交通大臣政務官<3月26日(月)>



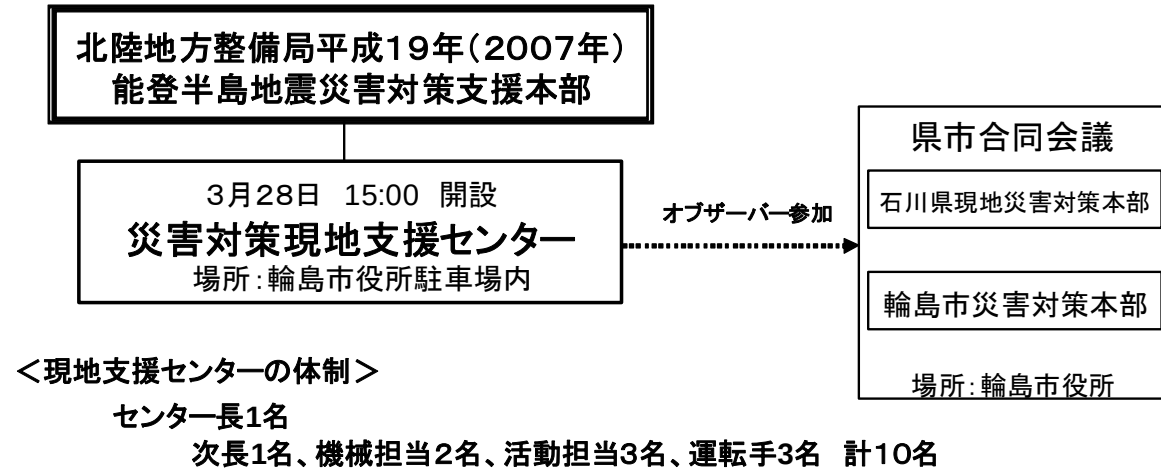
対策機械・機器の活動状況

災害対策機械名	派遣台数	備考
対策本部車	3台	
待機支援車	2台	ほか1台待機解除(3/29)
照明車	3台	ほか5台待機解除(3/29)
衛星通信車	4台	
橋梁点検車	1台	3/29点検終了
Ku-SAT	1台	



②能登半島地震 被災地への支援状況（災害対策現地支援センター）

北陸地方整備局は、石川県からの要請により、災害対策現地支援センターを3月28日、輪島市に開設した。支援センターでは、災害対策車両の管理運営や被災状況の緊急調査、復旧のための技術的支援等を迅速に行っている。



＜支援活動＞

- 市道の緊急調査 3月29日～3月31日
：輪島市の市道被災箇所の現地調査
- 災害対策用機械の派遣 3月25日～
：照明車、衛星通信車、橋梁点検車、Ku-SAT、災害対策本部車等
- 下水道の被害状況調査 3月26日～3月29日
：輪島市門前地区等における下水道被害調査、応急対策検討
- 建築物の被害状況等調査 3月28日～3月29日
：輪島市内の建築物被害等調査
- 港湾施設の復旧技術支援 3月29日～3月30日
：七尾港、和倉港、穴水港、輪島港の被災箇所の現地調査支援

市道の緊急調査

石川県からの支援要請を受けて、迅速な災害復旧に向けて、被災が特に激しい輪島市門前地区の市道について、被災箇所、被災状況を把握する緊急調査を実施した。

- 対象道路：輪島市門前地区の市道
- 調査期間：3月29日～3月31日（3日間）
【現地調査：29日12:30～30日15:30、結果整理：～31日13:30】
- 現地拠点：国民宿舎「輪島荘」
- 構成関係機関：北陸地方整備局、(社)建設弘済会、(社)建設コンサルタツ協会北陸支部
- 支援要員：3日間の調査期間中、延べ151人の調査要員を投入
【11班体制でスタートし、30日には3班増班し14班に補充】
- 資機材：情報連絡【災害対策本部車（1台）、衛星通信車（1台）】
現地記録用機材【デジタルカメラ、ポール、巻き尺など】
結果整理機材【パソコン（13台）、プリンター（3台）】
- 調査結果概要：災害調査箇所は269箇所、被災延長は約1.6km

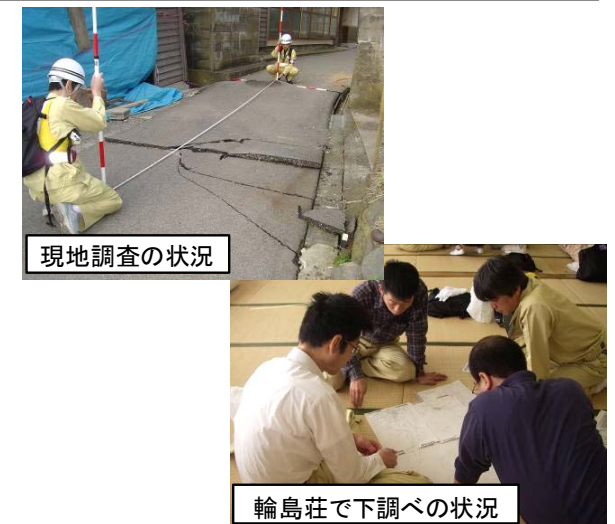


H19年3月30日
北國新聞(朝刊) 40面

市道を現地調査
北陸地方整備局
国交省北陸地方整備局
が輪島市に設置した災害
対策現地支援センターは
二十九日、同市内の市道
の緊急現地調査を行い、
約六十人が地震を受けた
損傷の個所や程度をチェ
ックした。

H19年3月29日
北陸中日新聞(朝刊) 18面

所駐馬内開設た
 原かの町に基つ
 き、縣市、町が單す
 る公共體の相互を
 支つてゐる。二十九
 三日は、同、北建
 設會、建設シムル
 多ト論北建設會
 七人が發出、鴨瀨
 中の市勞務狀況
 調査會、その後の活動
 は、走。



31日13:30輪島市長に調査結果引継ぎ

③能登半島地震 被災地への支援状況（道路）

自転車・バイクによる現地調査・情報収集

調査日時 バイク隊 3月26日 10:30～16:10
自転車隊 3月26日 11:20～16:10
調査対象 自動車による調査不能区間を重点調査
構成 道路部2名(自転車2台)
金沢河川国道事務所2名(バイク2台)



安全確保のため、常に2台で行動



自動車では走行不能な箇所でもバイクなら機動力を活かした調査が可能



深見漁港付近の市道における大規模崩落で交通が完全に寸断(自転車隊調査)



能登有料道路 能登大橋の損傷調査状況



ジョイント部に段差発生

事務所先遣隊による現地調査・情報収集

調査日時 3月25日 12:30 ~ 3月26日 19:30
調査対象 補助国道・県道の被災状況の把握
構成 富山河川国道事務所2名×2班、北陸技術事務所 2名×1班



輪島市門前町市街地の被災商店



輪島市役所門前庁舎内の被災状況



門前浦上地先の被災した寺院



国道249号 道路崩落で全面通行止 (志賀町深谷)



(一)深谷中浜線 崖崩れで片交 (志賀町酒見)



国道249号 落石で片交 (輪島市大野)

国総研・土研による道路橋被災箇所調査

調査日時 3月27日 8:30 ~ 16:00
調査対象 被災した石川県管理の道路構造物について技術的調査
構成 国総研 道路研究部 道路構造物管理研究室 玉越室長 他2名
独法土研 耐震研究グループ(耐震) 運上首席研究員 他1名
構造物研究グループ(基礎) 白戸主任研究員

主要地方道七尾能登島公園線 能登島大橋の損傷調査状況



橋面のジョイント部が損傷



橋脚の基部が損傷



④能登半島地震 被災地への支援状況（砂防）

整備局ヘリによる土砂災害状況調査

○日付 平成19年3月25日(日)～27日(火) 飛行時間 計7時間

○乗員 湯沢砂防流域対策課長、石川県砂防課長

① わじまし もんぜんまち しいのき 輪島市門前町椎木



斜面崩壊発生

③ わじまし もんぜんまち なかのや 輪島市門前町中野屋



斜面崩壊発生

④ わじまし もんぜんまち うらかみしやくがいけ 輪島市門前町浦上尺ヶ池



斜面崩壊発生



⑤ かわらだがわ わじまし くまのまち 河原田川(輪島市熊野町)



河道閉塞

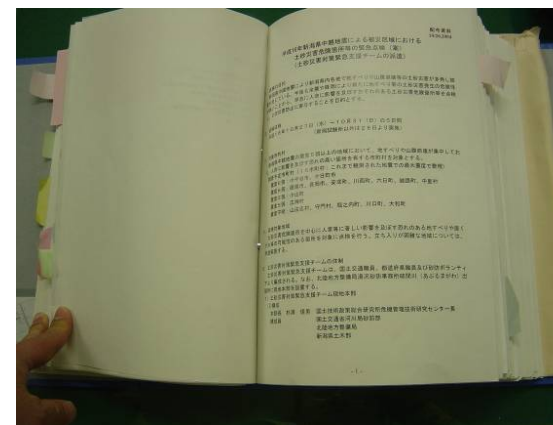
② わじまし もんぜんまち とちのき 輪島市門前町栃木



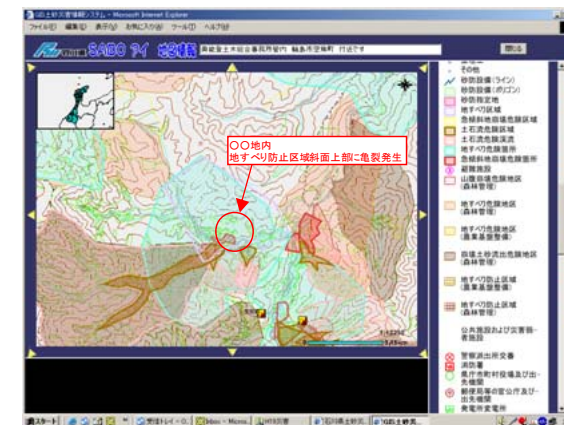
人家裏の斜面の亀裂

現地調査の計画づくり

○中越地震を経験した湯沢砂防事務所職員による
調査計画立案の支援



点検要領



土砂災害危険区域図

⑤能登半島地震 被災地への支援状況（住宅、下水道施設等、港湾、空港）

下水道被害状況調査

- ・26日から当地整、富山県、名古屋市が、輪島市、七尾市に入り、石川県による被害状況調査を支援



応急処理方法等の検討

建築物等の被害状況調査

- ・独立行政法人建築研究所等と協力して、輪島市内を中心に、建築物の被害状況を調査

